

見える化通信

子育て・教育支援に対する所得制限は撤廃を



現在、児童手当など様々な子育て・教育支援に所得制限があり、給付を受けられない層を中心に不公平ではないかとの声が高まっています。親の所得によって子どもを区別することなく、すべての子どもに給付を行うべきです。

電機連合 総合産業・社会政策部門

進む少子化と
経済的負担に対する声

厚生労働省は6月、2021年の出生数が過去最低の81万1604人であると発表しました。新型コロナウイルスの感染拡大の影響もあって日本の少子化は想定を上回るペースで進んでおり、早急な対策が必要です。

しかし、子どもを産み育てる環境は厳しいのが現状です。「家族を養うために収入を上げようとするが、その分、税金が増えたり、手当が受けられなくなる」「0～2歳までの保育料が高く、子どもを産むことを躊躇する」「2人の子が私立の大学・大学院を卒業したが共働きで稼いでも借金をしなければならなかった」。これらは電機連合が2021年秋に募集した少子化対策に向けた職場からの意見・要望の一部です。教育費負担の重さや子ども・子育て支援策に関わる所得制限の問題など、経済的な負担に関わる意見が非常に多く寄せられました。

子育て・教育支援にかかる
所得制限

国の子育て・教育に関する経済的支援策として、児童手当をはじめ幼児教育の無償化や高校無償化、大学等無償化などがあるものの、現状ではその多くに所得制限がかけられています。例えば、児童手当であれば世帯主の年収が960万円以上の場合には減額されて月額5000円の特別給付となり、1200万円以上になると2022年10月からは支給がなくなります。また、0～2歳以上の幼児教育

■図表 年収別・子どもの年齢別にみた子育て支援策

年収(目安)	児童手当 (世帯主収入)	幼児教育無償化 (世帯収入)		高校無償化 (世帯収入)		大学等 無償化 (世帯収入)	奨学金 (国立大学)
		0～2歳	3～5歳	公立	私立		
270万以下	○	○	○	○	○	○	○(給付)
300万以下	○	×	○	○	○	△(2/3)	○(給付)
380万以下	○	×	○	○	○	△(1/3)	△(2/3給付) 約400万以下
380万以上	○	×	○	○	○	×	△(1/3給付) 約400万以下
590万以上	○	×	○	○	△(1/3)	×	無利子貸与 (662万以下)
910万以上	○	×	○	×	×	×	有利子貸与 (1,012万以下)
960万以上	△(5千)	×	○	×	×	×	※貸与型は3人家族・自宅通学ケース
1200万以上	△(5千) →× 本年10月より	×	○	×	×	×	×

出所：厚生労働省、文部科学省のホームページより矢田わか子事務所作成

無償化や高校授業料、大学等無償化などでも所得制限があり、年収960万円以上の世帯ではいずれの給付も受けられなくなりますが(図表)。さらに、2021年末に支給された18歳未満の子ども1人につき10万円の「子育て世帯に対する臨時特別給付金」も、児童手当の仕組みを活用するとして、世帯主の年収が960万円以上の世帯には支給されませんでした。こうした状況で中間所得層でもゆとりをもって子育てをし、必要な教育を受けさせることが難しくなっており、「なぜ子どもに平等に支給されないのか。高収入の親は、税金を多く払っている。子どもへの支給は平等であってほしい」といった、所得制限の撤廃を求める声が高まっています。

矢田議員、所得制限の
撤廃を求める

組織内議員の矢田わか子議員はこども家庭庁設置法案などの審議にあたり国会で所得制限の問題を複数回にわたり取り上げ、その撤廃を政府に求めました。しかしながら岸田首相や野田少子化担当大臣は「所得制限は個々の制度の目的や支援方法に応じて必要性が判断されるものだ」と述べ、前向きな回答には至っていません。そのため、国民民主党は所得制限撤廃法案を国会に提出するとともに、6月16日には野田大臣に対し、子育て・教育支援関係給付にかかる所得制限の撤廃に関する要請を行いました。矢田議員は7万6千筆を超える署名を手渡すとともに、「子育て支援にかかる所得制限は子ども家庭庁の設置(法案の審議)の際にも指摘をした課題。所得制限があることによって、子どもを産むことを諦めることがないようにしていくことが必要。」と訴えました。

電機連合も児童手当や高校無償化、障害児福祉手当や特別児童扶養手当など子育て・教育に関する給付について子どもの生育環境を問わず等しく支給し、所得制限を撤廃するよう求めています。また所得再分配については税制などで対応することとし、少なくとも、所得制限が撤廃されるまでは、年少扶養控除を復活させるなどの対応を検討すべきです。子どもを安心して産み育てられる社会をめざし、電機連合は引き続き組織内議員と連携し、職場の声を政治に届けていきます。

